おすすめ書籍紹介　書籍の森

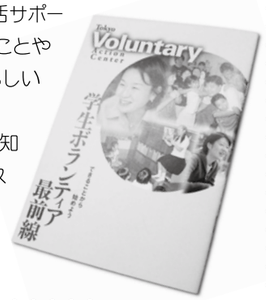
「できることから始めよう　学生ボランティア最前線」

（東京ボランティア・市民活動センター）

「ボランティアよりバイトのほうがいい」と言う人は少なくないが、「お金では買えない最高の報酬が得られる、そんな活動が自分の生き方にぴったり」と言う学生もいる。彼らは労働の対価に何を得ているのだろうか。

「学生ボランティア最前線」は、東京在学の高校生から大学生9人のボランティア活動をインタビュー形式で伝える小冊子。国も性別も障害の有無も越えて、人と人が心を通わせる「最前線」にいる彼らが、なぜ自分なのか、なぜ活動するのかを等身大の言葉で語っている。

自発的に行なう「ボランティア」という言葉が、「奉仕作業」の代わりに登場した頃はまだ、ボランティアと言えば福祉活動のイメージだった。今はどうか。太鼓×国際交流、自転車×環境活動、体力×子ども、英語力×外国人の生活サポート、専門分野×コミュニケーション障害。「自分の好きなことや得意なこと」と「社会の課題」を掛け合わせると、自分らしい活躍の場があることをこの小さな冊子は教えてくれる。



自ら社会の課題を見つけ、自分で決めて行動し、普段知り合わないような人と出会い、気付く・・・このプロセスに、アルバイトには無い魅力があるらしい。
ボランティアは、一人からでも始められる。この地域の学生にも是非読んでもらいたい。

作ろうみんなの
書籍の森
閲覧図書三重県一を
私たちと一緒に
目指しませんか？

ご協力ありがとうございます。おかげさまで 500冊 突破。

松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。
【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

書籍をご寄贈いただきました。ご協力感謝申し上げます。
◎スローフード・スローライフtoo（津）柏井 良子様
◎橋本 佳英 様

この場をお借りしてご報告
感謝の気持ちを込めまして
ありがとうございます！
松阪市市民活動センター　スタッフ一同

近頃、以前にも増し、登録団体の皆様のご支援、ご協力が増えてきています。

◎二葉流三重中勢支部 様
「柄が長い方が使いやすいでしょ」とホウキをご寄贈くださいました。（ありがたいことです）
今まで常備されていたホウキ以上に使い勝手も良く、掃除もはかどっています。

あまりの嬉しさにこの笑顔。でも、普段は他のスタッフがお掃除しています。念のため。

◎嬉野生活ネットピア 鈴木 博 様
毎回自主的に本誌AROMAの配布にご協力いただいております。（嬉しさのあまり涙が出そうです）
新しい読者が増えれば、今以上に市民活動に対する理解や協力も増えるように思います。本当にありがとうございます。

登録団体のみなさまへ
センターからのお知らせ

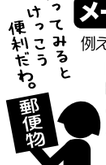
初午大祭休館のお知らせ。
初午大祭は例年通り臨時休館日となります。
2007年2月28日（水）・3月1日（木）

改めまして センター活用方法のご紹介

センターには様々な設備、備品がございます。
登録団体の皆様の活動に是非お役立て下さい。

鍵付きロッカー
例えば…
資料印刷の時、重い用紙を持ってこなくても保管しておけますよ。

メールボックス
例えば…
団体宛の郵便物、FAXなどの私書箱としてご利用いただけますよ。



市民が創る市民活動の情報紙ーアロマ
AROMA
次回発行は4月中旬です。
募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2007年3月24日（土）です。　担当／澤・北西

松阪市市民活動センター　〒515-0084　三重県松阪市日野町788　カリヨンプラザ3F　開館 月曜～土曜日／10:00～22:00
TEL 0598-26-0108　0598-25-3801（予約専用）　FAX 0598-25-3803　E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用
会議室（料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。）
大会議室……机 10　椅子 30（400 円）
小会議室 1…机 4　椅子 12（200 円）
小会議室 2…机 6　椅子 18（200 円）
小会議室 3…机 4　椅子 12（200 円）
外会議室……机 8　椅子 24（300 円）

機材等　印刷機（紙持込）／コピー機　マイク／プロジェクター　他
会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
利用申込　申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

情報提供
▼ 松阪市市民活動センターホームページ
http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/
▼ 市民活動情報サイト（登録団体の情報、会議室の空き情報）
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/
▼ 市民活動情報サイト（携帯版）
http://genki365.net/gnkm/i/
※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。

交通・駐車
松阪駅下車（JR側）、徒歩5分
カリヨンプラザ駐車場あり（屋上）センター利用時間に限り無料

R100 古紙配合率100%再生紙使用
2007.2.20

市民が創る市民活動の情報紙ーアロマ
AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity
No.9
発行…松阪市市民活動センター

目次
ちょっと気になる団体さん……1
NPO法人格設立講習会開催のご案内……2
団塊の世代向け講演会「新・仕事術発見」のご案内……2
「にぎわいフリーマーケット」出店者募集……2
ソフトバンクモバイル㈱寄贈バインダー無料プレゼント……2
事業報告「いせ・松阪・epartsリユースPC寄贈プログラム」寄贈式……3
市民活動について考える……3
NPO川柳……3
「書籍の森」関連……4
センターの活用方法ご案内……4
センターからのお知らせ……4

ちょっと気になる団体さん

◀ロマネスター代表　坂梨規子さん
松阪木綿特有の藍色が御城番屋敷の槇垣（生け垣）、石畳に映える。
ガイドの時は盛夏（7～8月）を除き、松阪木綿の着物で案内している。
盛夏の時期は松阪木綿で仕立てたオリジナルのワンピースで案内している。

およそ2年半という短期間で建てられた松阪城。城を守るための石垣には、松阪中の大きな石という石がかき集められたそうです。実はその中に石棺（読んで字のごとく棺です）の一部までも使われていて、今でも実際に見ることができます。こういった豆知識って人に話したくなりませんか？ 松阪には名所・旧跡が数多くあります。その場所ごとに語り継がれる歴史ロマンの数々。住み慣れた街の歴史を知れば、見慣れた風景が違って見えるかもしれませんね。

ロマネスター

松阪の歴史や文化は本当に面白い。改めてそう思えたのは、今回の取材先、ロマネスターの代表、坂梨規子さんに話を聞くことが出来たからだ。設立のきっかけは1993年に松阪で開催された全国城下町シンポジウム（第12回大会）。社団法人松阪青年会議所の呼びかけにより、この事業の半年前に募集された女性だけで構成されるガイドボランティア団体である。ネーミングの由来を尋ねると「松阪の歴史や文化を、ロマンを持って語ることの出来るシスターという意味が込められた造語で、私たちに松阪の歴史を教えてくださったと、説明してくれた。マイクを使わず、地声でガイドをする坂梨さんの声はよく通り、暖かみがある。具体的なガイド内容を、軽く障りだけ聞いたのだが、スラスラと語られる本居宣長の随筆『玉勝間』の一説と、松阪商人の優雅さや、当時、江戸で粋と言われ大流行した松阪木綿の『縞（しま）』（嶋）柄』の由来など、普段聞くことのできない歴史ロマンに興味をそそられ、つい聞き入ってしまった。それと同時に、難しいイメージの付きやすい歴史文化の事柄が、すんなり頭の中に入ってきたことに驚かされた。「ガイドすることを目的としていますから、勉強会で習ったことは誰にでも説明出来るよう、一度自分の中で噛み砕いてから、普段使っている松阪の言葉で話すようにしています。松阪弁ってやわらかいイメージがあるようで、身近に感じてもらえるんです」と聞くと頷ける。しかし、人に興味を持ってもらえる話し方が初めから出来たわけではない。「初めの頃は本当に大変でした。勉強したことを人に伝えるのって難しいんですよ。覚えたこと全てを話さないと追いつかない感じでしたから」と活動当初を振り返り、懐かしむように語る。今では蓄積された知識と経験を活かし、コースの選択、時間配分、聞く人が何に興味を示しているかなども、その場で判断し臨機応変に対応している。大変なことも多いこの活動も、会社と家の往復と、休日も家に居ることが多かった日々に大きな変化をもたらしたと言う。「松阪の歴史って、住んでいながらも知らないことが多くて本当に面白かったんです。自分が面白いと感じたことを他の人にも教えたくなって、会社の人たちにも話したりしましたよ。他にも市内をドライブ中に、立ち止まっている観光客を見かけるとガイドしてあげたくなります」と、この活動ならではの衝動を楽しげに語る。活動を始めて14年になるロマネスター。今後も多くの人に、この街の面白さをロマンを持って語り続けてほしい。

実際の活動風景▶
声の届く10～15人くらいがちょうど良い人数だそうです。
皆さん日頃聞けないような松阪の歴史に興味津々。

NPO法人格取得のアドバイスいたします

～ NPO法人設立講習会開催 ～

現在市民活動を行なっている皆さん、法人格は取得されていますか？ 法人格取得となると「申請の仕方がわからない」、「申請が面倒」、「法人になると報告などが難しそう」といったお話しをよく耳にしますが、今後、団体活動の幅を広げたいとお考えであれば、法人格取得について今一度考えてみてはいかがでしょうか。この講習会では、前半、NPO法人化のメリット、デメリットを具体的な事例を上げ、わかりやすくお伝えします。後半は、NPO法人格取得に向け、設立認証申請書作成の概要にも触れた、より具体的な内容となっています。将来的にNPO法人格取得を予定されている方はもちろん、興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

開催日程　2007年3月8日（木）　14：00～16：00

場　所　松阪市市民活動センター　大会議室

講　師　濱田　昌平（特定非営利活動法人国際ボランティア事業団認定 NPO法人コーディネーター認定試験合格者）

受講料　無料

申込方法　件名に「NPO法人設立講習会参加希望」とご記入いただき、本文に氏名、団体名、住所、電話番号、メールアドレスを明記の上、メールにてお申し込みください。
市民活動センター▶katsudou@ma.mctv.ne.jp

申込締切　2007年3月2日（金）

「退職後の生きがい再発見講演会」開催

集まれ!! 団塊の世代

テーマ　新・仕事術発見！～ 団塊世代の市民活動 ボランティア参加 ～

「時間ができたら何しよう？」心豊かな退職後に向けて人生のパートナーをお誘いになってはいかがでしょう？

日　時　2007年3月30日（金）　19：00～20：15

会　場　松阪市市民活動センター

内　容　近々、企業を定年退職される方（された方）に、ボランティア活動の中で「仕事」を見つけた講師が贈る、「第2の人生」発見術。

対　象　団塊世代の方々だけに限らず、どなたでもご参加いただけます。ご夫婦でのご参加も大歓迎。

締　切　3月23日（金）※定員になり次第締切

参加費　300円（2月末日までのお申込みは、参加費が無料です）

問合せ・申込み　松阪市市民活動センター TEL：0598-26-0108　担当／北西

講師：むかひら すすむ氏
シニア情報紙「フロンティアエイジ」編集長。
朝日新聞記者を退職後、欧米のボランティア事情などをレポートしつつ、団塊世代と協働で作る情報紙を発行、現在は近畿2府4県で85万部を発行する。「第2の人生は生きがいを手づくりできるグッドチャンス」と考える。

『にぎわいフリーマーケット』inベルタウン

松阪市市民活動センターサポート事業

出店者募集

2007年3月11日（日）11時～15時　※雨天決行

ベルタウン27周年イベントの一環として、市民活動団体のフリーマーケットを開催します。家庭の不用品などを販売して活動資金にプラスしてください。販売をせずチラシ配布のみのPR出店も可能です。詳細はセンター窓口の【募集要項】をご覧ください。 申し込み締切：3月7日（水）市民活動アピールショップ担当／北西

今回、ベルタウンのご賛同により、会場で実施する「ふるまい」へのチャリティー募金は市民活動団体のサポート資金として寄付いただくことができました。集まった寄付金の一部は出店者に均等に分配されます。これは**「街のにぎわいをサポートする市民活動団体」**と**「団体運営資金をサポートする商店街」**という、お互いをサポートする新しい連携事業です。

「アピ×サポ計画」始めま～す！

市民活動団体さん！ その良い取り組みをどんどんアピールしていきましょうよ！ 活動をサポートして下さる理解者はまだまだいるはずです。この支え合う仕組みを当センターは、「アピ×サポ計画」と名付け、今後も広げて行きたいと思っています。

バインダー無料プレゼント　早い者勝ちですよ!!

ソフトバンクモバイル㈱から当センターに、バインダーの寄贈をいただくことができました。企業の社会貢献活動（CSR）の一環として頂戴したものです。使用済みの品もありますが、すべて美品です。登録団体の皆様に無料でお分けします。これ以降もCSR活動の推進と市民活動支援に力を入れてまいります。寄贈物品などございましたら、ご一報ください。

ご提供方法：センター窓口にて先着順（1団体1冊）　**配布終了日**：2007年3月31日（土）

ご提供総数：35個（数がなくなり次第終了）　**バインダー仕様**：A4書類用、2穴、穴間隔は4～10cm、青

事業報告　リユースPC寄贈式が開催されました

いせ・松阪・epartsリユースパソコン寄贈プログラムの寄贈式が1月27日（土）に、いせ市民活動センターで開催されました。午前、午後の二部構成で、午前の部は、選考委員によるリユースパソコンの寄贈団体選考が行なわれました。松阪地区、伊勢地区合わせて9団体の応募があり、申請書に基づき申請団体の活動実績や、その団体が使用するパソコンの有効性などの項目で厳正な選考を行い、寄贈団体を決定しました。午後の部は、交流イベントと寄贈式が行なわれました。最初は「情報発信のコツ～成功例プロの技から学ぶ～」と題したパネルディスカッションが行なわれました。4人のパネラーからは「これを伝えたい」という熱い思いを持って発信し続けることなどの情報発信のコツが提案されました。続いて、イベント参加団体による2分間スピーチが行なわれました。前回の寄贈団体から現在のパソコンの活用状況の報告があり、その後、今回申請された団体が、自分達の活動内容を含めた熱いスピーチを繰り広げました。素晴らしいスピーチに対しては景品が進呈されました。最後はリユースパソコン寄贈団体の発表です。選考委員長の吉野氏から「台数の調整はあったものの申請団体すべてに寄贈が決定しました」という嬉しい発表がありました。松阪地区には「特定非営利活動法人チャレンジスクール三重」、「すずらんの会」の2団体に、合計4台が寄贈されました。リユースパソコン寄贈プログラムは、単にパソコンを寄贈することが目的ではなく、寄贈されたパソコンによって人々の繋がりを生み、交流の輪が広がることを目的としています。寄贈された団体にとって、情報の受発信だけではなく、人との繋がりや交流を生み出すツールとして、寄贈パソコンが活躍してくれるのではないでしょうか。

◆◆◆ センター登録団体の皆様にもどうぞ ◆◆◆

今回協働しました特定非営利活動法人イーパーツより、松阪市市民活動センターに、クリアファイルの寄贈がありました。日頃よりセンターをご利用いただいております登録団体の皆様にもお使いいただけるようアロマ第9号に同封いたします。是非ご活用ください。松阪市市民活動センターは、今後も登録団体の皆様に喜んでいただけますよう、企業や団体との連携に力を入れていきたいと思います。

市民活動について考える

市民活動を進める上で、先駆者の言葉には、今後の活動に役立つヒントが隠されているように思います。

「参画・巻き込み」について考える

―丁太郎

市民活動を行なって行く上で大切になってくるのは、自分たちの活動の理解者、賛同者を多く求めていくことです。

自分たちの活動のテーマに沿って、一緒にする人たちを探すこと、おもいを分かち合える仲間を見つけることからまず始めなければなりません。一人では味わえない、できないことができるのは仲間がいるから。仲間は何かする時のパワーの源です。

平成17年に発行された「伊賀発・協働辞典」（2004伊賀人委員会編）の「巻き込み」の項に記されているのは、――「自発性」と「利他」というふるいにかけて、仲間を引き入れること。雪玉を転がして、雪だるまをつくるように、人を引き入れ、物事に関わる仲間を増やしていくのである。多くの人を引き入れて、広く、細やかに、ネットワークで動けるところまでいければ巻き込み大成功！ 巻き込む方法は人脈の駆使、メリットの提示、広報等いろいろあれど、日頃から地域や地域のキーパーソンを知っていないと、目算違いなんてことも。――とあります。いかに自分たちの活動を、人にわかりやすく伝えるかにより賛同を得られ、またその活動の輪が広がりをみせるかが違ってきます。

賛同者を得たとき、参加したすべての人が同じ思いの水準であるかどうかはわかりません。ひとりひとりの生活や事情により、またおもいのはかりの違いにより、参加の度合もまちまちです。でもそれで良いのです。強制ではなく、自発的に参加してもらうことがまず第一歩。それぞれのおもいをはかりながら、コアとなるメンバーが出来、それを支えるメンバーが、まわりを構成する、そんな組織が自然だと思います。

よくわからないまま誘われて、大変な渦に巻き込まれながらも、けっこう楽しそうにがんばっている人ってけっこういるものです。大切なのは活動の趣旨がぶれないこと、手法はみんなで話し合い柔軟に、そしてそのつどそのつどみんなで確認しあうこと、そういった行動が地域の賛同者を増やしていくのだと思います。

第4回 NPO川柳

第4回を迎え、徐々に広がりをみせるNPO川柳。あなたの一句、お待ちしてます！

ボランティア
君と僕との
信頼感
下谷早紀さん

「信頼」が成り立っている。素晴らしいことですね！

真夜中に
ソッとでている
ボランティア
杉本幸子さん

24時間の相談電話などは、それにあたりますよね。

使命感
だけでは食えぬ
NPO
浦田宗昭さん

その思いが収入には結びつかないんですよね～

夢を追い
仲間とともに
汗をかく
酒徳静香さん

やっぱり人生「夢」を追い求めましょう！

ボランティア
とどまる足を
夢が押す
酒徳静香さん

まさに夢だけが推進力ですよね。みんな同じだ～

NPO川柳　引き続き募集中

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に

【対象者】どなたでも応募できます。（NPO関係者以外の方も大歓迎）

【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、左記をメールで送信ください。①句（未発表作品に限ります。複数応募も可）②氏名（雅号、筆名でも可）③住所、電話番号

【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp

【締切】平成19年3月24日 必着

【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて

皆様は何もございませんが、想いや願いを川柳で楽しく伝えて交流しましょうよ！

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。
※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。

センター長の独り言

松阪市の環境基本計画策定に協力し、環境団体にアンケートを実施しました。これからもより良い橋渡しができるよう努めます。

負けじと副センター長も独り言

リユースパソコン寄贈プログラムが終了しました。"団体によし、企業によし、社会によし"今後も市民活動センター三方よしの理念で事業を進めていきたいと思います。